

スキーするならこんな仲間

スキー スルナラ コンナ ナカマ

サップロ 5分

制作：べすも (粉雪食人)

“同じ板で滑れば同じように楽しい”という“チャケ理論”が提唱されてから数年が経過した現在、粉雪食人には“仲間”の輪が大きく広がった。映像作家として explore から独立したべすもが、この数年間に制作した作品の集大成として送り出した本作。仲間と一緒にスキーを滑る楽しさというものを、賑やかに楽しげな、そして時にはハツとする滑走シーンを通して伝えてくれるフィルム。



explore 10th trailer

エクスプローラー テンス トレイラー

サップロ 5分

制作：Kazuyuki Sawada (explore)

今年10作目となる“explore”の編集者の席に、映像制作ユニット explore を立ち上げたカズユキ・サワタ自身が戻って来た。有能な編集者たちがしのぎを削るメンバーの中で、完成した作品に“explore”の名前を与えることが許されているのは彼ただ一人だ。観客を魅了することになるだろう本編は、昨シーズン explore により撮影されたスキーシーンをメインとする映像から制作される壮大な作品の予告編。explore が探求し続ける滑りのルーツを垣間見ることができる。



Different Line

ディファレント ライン

アサヒカワ 6分

制作：mac.jp (The Deep North)

これまで The Deep North から作品を提供し続けて来た OMT と nabex の後を引き継いで制作に当たったのは、チーム最年少、フィルマーの mac.jp だった。普段は nabex の陰に隠れがちだが、美しい自然の情景を切り取る確かな腕をもつ mac.jp が、今度はバックカントリームービーの編集者としてその才能を披露する。ノールから一瞬で消え去るスノーボーダー。The Deep North で鍛えられた彼が、過激で危険な彼らの雪上のアクティビティを1本の映像作品に紡ぎ上げる。



Rishiri Challenge 2014

リシリ チャレンジ 2014

ワッカナイ 6分

制作：Naoki-X (粉雪食人)、The Master Volume Pictures

日本を代表する山岳スキーヤー佐々木大輔が、厳冬2月に最北の日本百名山、利尻岳の大滑降に挑んだのはまだ記憶に新しい。いまや滑降に成功することがスキーヤーとしての実力の証明となっているこの独立峰に、カメラマンの Naoki-X を含む北海道各地から集まった粉雪食人のメンバーたちが挑んだ。果たして彼らは成功を勝ち取ることができるのだろうか。映像を観た者は、スクリーンの前で手に汗握らずにはいられない。



Soul of Ezo

ソウル オブ エゾ

サップロ 6分

制作：uromas (道楽フォーティーズ)

Sea to Summit とはカヤック、自転車、バイクの3種目で水辺から山頂を目指してタイムを競う過酷なレースのことだが、uromas が所属する道楽フォーティーズはその常連チームだ。鉄人そっくりの彼らは、大地が雪に覆われるとともに装備をスキーへと換えて再び山頂を目指す。一見すると気の抜けたチーム名だが、“道楽”が意味するものこそ作品のタイトル“Soul of Ezo”に他ならない。冬の北の大地で登るために滑る男たちの姿を描いたフィルム。



High of Life

ハイ オブ ライフ

トーキョー 7分

制作：さる (BEACON PARTNER / yukiusagi ml)

さるは、一年を通して日本各地を巡って、登り、滑り、漕ぐ。その時々、手にしたポールとパドルとを巧みに持ち替えている彼だが、いつも立山から始まるスキーシーズン、毎年のように訪れるのが北海道だ。日本の様々な山域での滑走経験をもつ彼のファインダーを通して、雪に心を奪われた人々に共通する日本の自然への想いに触れることができる。今では海外の著名なライダーたちをも引きつけて止まない日本のスノーシーンの魅力に再び気づかせてくれるフィルム。



SWATTON II

スワットン セカンド

ハマトンベツ 4分

制作：OTA (DOHOKU POWDERBELT 275)

前作において、美しい自然とエキサイティングなテレマークスキーのパラグライダーの映像で道北の魅力伝えてくれた OTA。昨シーズン、中頓別が注目され、たくさんの人々をこの地に導く道案内役を務めた。幌加内より始まり、国道275号線が蛇行しながら北へと伸びるこのエリアは、豊富な降雪量やスティープな斜面を擁するエリアであることが知られることとなり、“道北パウダーベルト275”として再認識される。透き通った青空の下、道北の四季が移り変わっていく映像を目にして息を呑むことだろう。



Fortune Cookie in Love BAFUN Ver.

フォーチュンクッキー イン ラブ バフアン バージョン

サップロ 4分

制作：s-ki-x

昨年のチャート賑わせた日本の女性アイドルグループ AKB48の楽曲“恋するフォーチュンクッキー”は、地方公共団体をはじめ様々な地域・団体がそれぞれ出演した動画が制作され、その複数公式動画として公開されている。だが、これまで数々のエクストリーム・スポーツの撮影と映像制作を手がけて来た s-ki-x が才能あふれるスキーヤー・スノーボーダーを率いて挑んだのはバックカントリーにおける収録だった。過酷な気象条件との戦いを経て完成された映像から、観客は新しい恋へ踏み出す勇気を与えられるだろう。



10 years after: revisiting Nakadake Spa

10 イヤーズ アフター リビジティング ナカダケ スパ

サップロ 11分

制作：H-bomb Production、H本 (三段山クラブ)

2014年春、三段山クラブは10年ぶりに中岳温泉へのツアーを敢行した。7名のメンバーのうち、テントさえ崩壊する強風下における前回のツアーを経験しているのは、代表の大西 (旦那) と田中パパの2人だけだった。10年前、ツアーへ旅立つ大西に「自分が行けない分、せめて食事当番をやる」と一生懸命食材を準備した妻のゆきこ。妊娠8か月の愛する妻へ向けて「いつか生まれてくる子供達と一緒に行こう」と大西は告げた。そして10年後、H本を含む新たなメンバーを従えて、再び旅立った。



Human Power

ヒューマン パワー

チトセ 10分

制作：やっしー (dbr)

今回のやっしーのエクスペディションのパートナーには、スキー滑降の技術とハイクアップの体力、そして厳しいコンディションを耐え抜く精神力のすべてについて高い評価を得ている s-ki-x とチャキの2名が抜擢された。両名はやっしーから事前に登攀の指導を繰り返し受け、2014年4月、ついに海を渡る。スタートは海拔ゼロ。3名のスキーヤーはすべての装備を背負ってサドルにまたがった。“人力”それがこの旅に課された命題だ。春の訪れを待つ利尻島で重力との駆け引きを繰り広げた記録フィルム。



No Avalanche No Life

ノー アバランチ ノー ライフ

サップロ 8分

制作：Queso (BitterSweet Films / Team No Peaks)

1976年に初めてカナダのバンフで開催されて以来、2年に1度北米を中心に継続されて来た International Snow Science Workshop (ISSW) は、21回目を迎える今年、発祥の地バンフへ帰って来た。研究者、スキーパトロール、アルパインガイド、関連メーカーなど、世界各地から約800人が参加して真剣な議論が戦わされる5日間に、日本から Queso が挑んだ。研究者、アーティスト、アスリートといった複数の顔をもつ彼独特の視点で綴られる雪崩バムたちのドキュメンタリー。



Program **A**

Program **B**